

テーマ「3学期（1～3月）の国語の学習計画」

■学習は「つながり」が大事

1学年の最終学期がはじまりました。「新しい学期」ととらえるか「最後の学期」ととらえるか判断が難しいところですが、いずれにしても、この3か月を過ぎれば、「新しい学年」がはじまるのは確かなことです。そこで、この時期に何をすべきかを考えてみようというのが今回のセミナーのテーマです。

これまでの取り組みと、次の学年での取り組みをどのようにつなげていくかという側面からいくつか提案します。どの学習についても言えますが、「つながり」は大事です。この3か月の国語の学習も「つながり」を念頭においてすすめていきましょう。

■この時期だからチャレンジ

お試しの学習を1か月、2か月やってみては？

自分に合った学習はそうそう見つかるものではありません。国語も同様です。漢字や語彙の習得、文法の学習、文章読み取り、文章作成など、それらの今後の学習方法は見出しにくいでしょう。だからこそ、この時期にまずは「やってみる」のです。自分に合うのか、合わないのかはやってみてからの判断になります。だからこそ今、勇気をもってやってみてほしいのです。

■前学年の振り返り、定着

漢字や語彙についてはまず前学年から振り返る

3学期の学習というと、現学年1学期からの振り返りをするというイメージがありますが、それは少し後でもいいでしょう。なぜなら、春休みにするようになるからです。

それなら、前学年の振り返りをするのはどうでしょう。前学年の振り返りをしてから、春休みに現学年の振り返りを行うのであれば、つながりが出てきます。漢字や語彙については次年度に有効でしょう。

■まとめ

ここではじめた学習が次学年の学習スタイルの礎となる

継続が保たれる国語の学習スタイルをこの時期につくってみよう

知識の習得と、読み方・書き方の姿勢の形成のバランスを整える

まずはチャレンジ！できることをコツコツ続けてみよう

■ゴールの設定は長期に

3学期だけの計画ではなく、次の学年にまたぐ計画設定

例えば、漢字ドリルを進めるとします。前学年からはじめ、現学年まで進めるとすると、そこそこの量になります。それを少しゆとりをもって4月半ばまで、あるいは4月末までというように長期にわたるようにしてはどうでしょうか。

ここで大事なのは、次学年にわたる学習習慣、学習ルーティーンを形成することです。この時期にこそ日々のタスクを作りましょう。